

平成 23 年度平成の名古屋市民の森づくり事業報告書

- 1 日 時 平成 23 年 5 月 14 日 (土) 9:00~16:00
- 2 場 所 木曽郡木曽町福島戸立町有林
- 3 内 容 本事業は、名古屋城本丸御殿復元事業として木曽ヒノキが材料として使用されることから、使用するだけでなく、植栽、育樹をおこない上流域の豊かな自然環境を将来に残そうと、3年前から木曽町町有林で実施しているものです。
- 2,3日前から雨が降り続き、当日も雨の心配がされましたが晴天に恵まれました。名古屋市から一般市民 104 名(バス 3 台)と職員 12 名、木曽地域から連合長をはじめ 52 名が上下流交流の一環として、名古屋市民の植樹作業や各種体験に参加協力いただきました。
- 開会式では名古屋市市民経済局副局長、木曽広域連合長のあいさつ、地方事務所林務課による諸注意、体操がおこなわれました。今年には実際に木を切る場面も見ていただき作業風景をイメージしていただくように、林業士会に依頼をしてチェーンソー伐木を行いました。始めてみる方も多いようで皆さん大変興味深げに見ていました。
- 開会式終了後、各班にわかれ作業説明を行った後、植樹開始となりました。晴天のため順調に作業も進み、またけが人も無く無事終了することができました。
- 植樹作業終了後、一般コース(80名)の方は大桑村の大桑村スポーツ公園に移動して昼食をとりました。昼食の際には、大桑村アルプホルンクラブの方々による演奏も行われました。昼食後は、歴史民俗資料館を見学したり、須原宿・定勝寺・岩出観音を散策して楽しみました。とことんコース(40名)の方はその場で昼食をとり、その後、残っている植樹箇所での作業を行ったり、チップを作って道に巻いたり周辺整備もおこないました。最後に道具の片づけまで行っていただき終了となりました。みなさん木曽のおいしい空気を吸いながら山での作業を楽しんでいただき満足してお帰りになりました。
- 将来に向けて個人的にも来たくくなるような、そんな仕掛けを今後考えたいと思います。



